

映像制作×地方創生を強みとするドローイングアンドマニュアルが 今年も「#徳島ニューノーマル映画祭2022」に全面協力！

徳島県|TikTokのコラボレーションで作る初の縦型映画は、

ドローイングアンドマニュアルが企画・脚本を担当。

主演に「純悪」で話題の山根和馬さんと、新星・宮下咲さんを迎えた

『TUNNEL VISION』は、#徳島ニューノーマル映画祭2022にて公開

数々の映画、MV、番組等を制作するクリエイティブカンパニー、ドローイングアンドマニュアル株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:唐津 宏治)は、2022年3月5日(土)～2022年3月6日(日)に開催する『#徳島ニューノーマル映画祭2022』にて、縦型映画『TUNNEL VISION』を上映することをお知らせします。



概要 | 「#徳島ニューノーマル映画祭」初の試みであるTikTokとのコラボレーションに全面協力

2021年にドローイングアンドマニュアルが企画・ディレクションを行った徳島県の情報発信プロジェクト「follow your heartbeat」をきっかけに、徳島県とTikTokのコラボレーションが実現。「#徳島ニューノーマル映画祭2022」において、徳島県初の縦型映画の制作が始まりました。企画・脚本をドローイングアンドマニュアルの唐津宏治が担当し、「follow your heartbeat」で活躍した長竹寿人氏(株式会社オリジナル)を監督に、新作映画『TUNNEL VISION』を制作します。TikTokの協力のもと、TikTok人気クリエイターであり俳優の山根和馬さんと、アミューズの若手俳優・宮下咲さんを迎え、視聴者の心を動かす映画を制作いたします。本映画は、「#徳島ニューノーマル映画祭2022」会場に設置される、大型縦型スクリーンにて上映されます。

縦型映画企画「TUNNEL VISION」概要

タイトル : TUNNEL VISION

上映日 : 2022年3月6日(日)

放映場所 : 徳島県文化の森総合公園 徳島県立21世紀館エントランス

TikTok アカウント : @tokushima_newnormal

ストーリー :

徳島県の山奥にある架空の村に住む親子。村の古い習わしを通じて、父親は娘を傷つけてしまう。心を閉ざす娘と、娘に負い目を感じて生きる父親。村の外にある夢に挑戦するため、2人は手を取り合い心を通わせていく。村の唯一の出口であるトンネルを抜けて、外の世界に出られるのか。2人の挑戦と成長の物語。

出演者 : 山根和馬、宮下咲

『TUNNEL VISION』は、恐怖と教育の物語です。誰かと同じであることが価値であった時代には、「教え」や「道徳」は、一方的にインストールされるものでした。それは時には「恐怖」を持って伝えられ、「（怒られるから）してはいけない」「（怖いから）しない」というような傷／枷のように、子どもたちの心を縛りました。しかし、現在ではそういった教育は通用しなくなっているように思います。誰かと同じであることは価値を持たず、誰もしないことをする、自分を表現する、ということこそが人生を豊かにし、人とつながる手段になっています。

TikTokには、そういった生きる力を持った人々が集っているように感じます。自分のやりたいことをやること。古い風習から解放されること。その先には自分の人生があります。しかし、自分で決めた人生であるからこそ、そこに責任が生じ、その先にさらに行きたいと思った時には、必死で何かに向き合い、学び、成長しなくてはなりません。その時にようやく気づくのです。あの時怒ってもらったこと、あの時植え付けられた恐怖、それらは自分の役に立つ要素になっているのだと。どちらが正解とか、どちらが時代遅れとかそういうものではなく、それらは巡り巡って自分の人生に価値を与えます。私は、枷に縛られて新しいことを始められない家族の物語を描くことで、そのことに気づきを与えたいと思います。

ドローイングアンドマニュアルが『#徳島ニューノーマル映画祭2022』に全面協力する背景

ドローイングアンドマニュアルは、2014年から徳島県のブランディングやプロモーションをサポートしています。「vs東京」というコンセプト開発をきっかけに、徳島県が潜在的に持つ魅力に焦点を当てた映画作りがスタートしました。そして2016年、「vs東京」の一環で当社代表の菱川勢一がディレクターとなり徳島県で映画祭を開催することが決定、それが「徳島国際映画祭」となりました。「徳島国際映画祭」は好評を博し、その翌年からも毎年継続して開催。今年で7年目を迎えます。

2020年は新型コロナウイルスの影響でオンライン上映のみの開催、昨年は「ドライブインシアター」形式での開催、そして今年はオンラインとオフライン同時の上演が決定しました。

当社は、映画祭のディレクションだけでなく、徳島県を舞台にたくさんの映画を制作してきました。『TUNNEL VISION』は、徳島県在住のクリエイター長竹寿人氏を監督に迎え、地元企業とコラボレーションした、新しい体制での制作に挑戦いたしました。



縦型映画の制作において工夫したポイント

縦型映画の制作において以下の点を考慮しながら制作しました。

- ・TikTokでの配信を念頭において、各ブロックの頭にTikTokユーザーが親しみやすい仕掛けを作りました。
- ・「縦型」ということを考慮し、視野角の狭さを随所に活かす撮影・演出を駆使しています。
- ・映画祭会場で上映することも同時に意識し、30分通してもしっかりとストーリーの伝わる映像になる様に構成しました。
- ・TikTokユーザーを意識しつつも、地元クリエイター長竹氏の得意とするVFX(視覚効果)、CG表現を随所に加え、クリエイターの持ち味を発揮できる脚本に仕立てました。
- ・徳島県の「#徳島ニューノーマル映画祭2022」に設置される縦型大型ビジョンのインパクトを活かした企画になっています。普段スマートフォンで見ている動画を、巨大スケールで見た時の印象は、インスタレーションを観ているかのような感覚をもたらします。大画面で展開されるVFX、CGを駆使した不思議な世界観は、新しい体験になると考えています。

制作者プロフィール

■『TUNNEL VISION』の企画、脚本を担当 唐津宏治



DRAWING AND MANUAL 代表取締役社長 脚本家 / プランナー

1978年生まれ。東京都出身。早稲田大学第一文学部文芸専修卒。ドローイングアンドマニュアルでは、コミュニケーションデザイン、コピーライティング、企画、ブランディング、インタビュー、脚本執筆、作詞など、主に言葉に関する業務を担当。「東北STANDARD」プロジェクト、徳島県共通コンセプト「VS東京」開発など。映画『桜谷小学校、最後の174日』『ふたごとうだつ』『ハモニカ太陽』、Mr.Children『here comes my love』、の企画・脚本を担当。

■『TUNNEL VISION』の監督を担当 長竹 寿人



沖縄出身 43歳 東京・アメリカ育ち 株式会社オリジナル クリエイティブ・ディレクター 映像クリエイター

Digital Hollywood Institute of Media Art Santa Monica卒 2002年-2019年 東京のポストプロダクション、VFX制作会社入社 VFX Artist, Supervisorとして、国内外TVCM, 映画, PV, 企業VP, アニメ, ゲーム, VR, プロジェクトオンマッピング等多数のプロジェクトに参加。2019年～現在広告代理店・制作会社 (株)オリジナル入社。徳島県や自治体をはじめ、地元企業のPR映像をメインに企画・演出・撮影・編集と様々な形でプロジェクトに関わっている。

出演者プロフィール

■『TUNNEL VISION』北島 吾郎 (父親) 役 山根和馬 | 俳優・ダンサー



【生年月日】1984年3月6日 【出身地】神奈川県 【身長】170cm

DA PUMPに憧れダンスの活動をしている時に、映画監督にスカウトされ、「ハーケンクロイツの翼」（ダブル主演・小栗旬）にて主演デビュー。その後、「SP」を始め、ドラマ・映画に立て続けに出演。その後、2008年から約5年間DA PUMPのメンバーとしてアーティストとして活動。現在は、俳優活動を中心に、子供たちにダンスを教える活動も行っている。

■直近の主な映画出演作品

2020年 「カイジ ファイナルゲーム」 佐藤東弥監督、2019年 「ダンスウィズミー」 矢口史靖監督

2018年 「カスリコ」 高瀬将嗣監督、2018年 ショートフィルム「IMC」 ArK監督 等

■『TUNNEL VISION』北島 光希 (娘) 役 宮下咲 | 女優



【生年月日】2004年9月15日(17歳) 高校2年生

【出身地】愛媛県 【身長】166cm 【特技】テニス 【所属】アミューズ

2018年全県全員面接オーディション～四国編～にてグランプリを獲得。

■直近の主な映画出演作品

YouTubeドラマ「僕らはいつだって遠回りをしている」主演

CM「Pikara」「イチビキ」「AGC」「進研ゼミ」

NHK「ふるさとの色」番組ナビゲーター 等

スタッフリスト

企画・脚本：唐津 宏治

監督：長竹 寿人

プロデューサー：梅岡 圭太郎

助監督：福岡 利武

制作：神原 幸子

カメラマン：林 俊宏

照明：佐野 倫太郎

音声：江西 馨

音楽：ヨリモトサトシ

ヘアメイク・衣装：YOSHIKO

衣装アシスタント：長竹 朱美

ドローイングアンドマニュアル株式会社について

DRAWING AND MANUAL = 図画工作を活動の理念としたクリエイティブカンパニーです。

1997年にグラフィックデザイナーと映像作家が集まって創立され、モーショングラフィックス展という展覧会を開催し「動くグラフィックデザイン=Motion Graphics」という新しい概念を世界に先駆けて打ち出しました。創立から24年、この間にさまざまな環境の変化がありました。これからもサステナブルで、楽しみながら学べるモノやコト、年齢や性別や言語を問わずに皆さんが楽しめるものを考え、つくり、伝えるのが私たちの仕事です。「希望」と「未来」を図画工作する会社として社会や暮らしのためのアイデアを生み、工夫をし続けます。

会社名 : ドローイングアンドマニュアル株式会社

代表取締役会長：菱川 勢一

代表取締役社長：唐津 宏治

設立 : 1997年5月26日

事業概要 : ブランドデザイン・映像制作・TV番組企画制作・広告企画制作・グラフィックデザイン・
Web制作・プロモーション企画

HP : <https://drawingandmanual.studio>

〈一般の方からのお問合せ先〉

ドローイングアンドマニュアル株式会社 広報担当

TEL : 03-5707-7225